



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月31日

上場会社名 ABホテル株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 6565 URL <https://www.ab-hotel.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沓名 一樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大出 章喜 TEL 0566 (79) 3013
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,185	6.9	1,929	8.9	1,903	9.1	1,185	8.9
2024年3月期中間期	4,849	21.2	1,771	49.1	1,744	50.1	1,088	56.6

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	83.66	—
2024年3月期中間期	76.81	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	25,290	11,392	45.0
2024年3月期	22,860	10,433	45.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 11,392百万円 2024年3月期 10,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

- （注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
2. 2025年3月期における1株当たり期末配当金については、17円から20円に変更しております。詳細については、本日（2024年10月31日）公表いたしました「配当予想の修正（創立10周年記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。
3. 2025年3月期 期末配当金（予想）の内訳 普通配当金17円 記念配当金3円（10周年記念配当）

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	3.5	3,690	2.1	3,620	1.6	2,320	0.3	163.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	14,176,000株	2024年3月期	14,176,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	427株	2024年3月期	427株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	14,175,573株	2024年3月期中間期	14,175,587株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。添付資料P2「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善など緩やかに回復基調が見られる一方、長期化する地政学的リスクを起因とした資源価格の高騰やそれに伴う物価価格の上昇、金融政策の見直しによる急激な為替の変動による影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ホテル業界全体におきましては、国土交通省が発表する宿泊旅行統計調査(2024年7月・第2次速報、2024年8月・第1次速報)にて、宿泊事業全体の延べ宿泊数は7月5,666万人泊(前年同月比4.1%増、2019年同月比9.4%増)、8月6,611万人泊(同2.7%増、同4.5%増)となり前年、感染症発生前と比較しインバウンド需要の回復もあり全体の宿泊需要は堅調に推移している結果となりました。また当社の属するビジネスホテル業界の稼働率に関しては、7月73.9%、8月74.8%と、感染症以前の経済活動を取り戻した状況となりました。

こうした経済環境のもとで、当社はお客様の更なる満足度向上のため特に観光立地の朝食メニューを見直しするなど、宿泊稼働率の維持に努めました。また人件費や資源価格の高騰によって生ずる様々なコスト増加に対応するため、削減面では、一部店舗において実施していた自社清掃店舗を拡大しコストの削減を実施し、価格面では以前より行っていたレベニューマネジメントを更に磨きをかけ、コスト削減と適正価格の設定を両軸とした施策を実施いたしました。宿泊ニーズの高い立地での運営に加え、当社の主要顧客であるビジネスのお客様が堅調に推移し、尚且つインバウンド需要や国内の旅行需要が増加したことによって1室あたりの宿泊単価は上昇しながら稼働率の適正化を図った結果、前々期までに開業した既存33店舗の中間会計期間平均宿泊稼働率は86.1%(前年同期比3.2ポイント減)となりました。

当中間会計期間におきましては、2024年9月三重県初出店となる「A B ホテル伊賀上野」を出店し、新規開業店舗を含め運営店舗は35店舗となり、客室数は4,562室となりました。

この結果、当中間会計期間における売上高は5,185百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益1,929百万円(同8.9%増)、経常利益1,903百万円(同9.1%増)、中間純利益1,185百万円(同8.9%増)となりました。また当社の主要KPIである経常利益率は36.7%となり、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益は、いずれも中間会計期間における過去最高をそれぞれ更新いたしました。

なお、当社はホテル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2,430百万円増加の25,290百万円となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産が「A B ホテル」の新規出店等により2,651百万円増加した一方、現金及び預金が332百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債総額は、前事業年度末に比べ1,471百万円増加の13,898百万円となりました。主な要因といたしましては、「A B ホテル」の建設による借入金並びにリース債務が1,669百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ959百万円増加し11,392百万円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.0%(前事業年度末は45.6%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきまして、2024年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,586,025	5,253,530
売掛金	638,501	562,015
棚卸資産	19,817	21,569
その他	68,629	289,431
流動資産合計	6,312,974	6,126,547
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,069,808	15,737,172
減価償却累計額	△3,390,271	△3,614,254
建物(純額)	10,679,537	12,122,917
構築物	759,873	808,013
減価償却累計額	△364,428	△386,880
構築物(純額)	395,444	421,132
機械及び装置	79,974	87,692
減価償却累計額	△54,377	△57,515
機械及び装置(純額)	25,596	30,176
工具、器具及び備品	284,178	305,767
減価償却累計額	△246,453	△255,241
工具、器具及び備品(純額)	37,725	50,526
土地	1,484,212	2,439,967
リース資産	4,317,606	4,440,763
減価償却累計額	△1,578,536	△1,683,722
リース資産(純額)	2,739,069	2,757,041
建設仮勘定	336,943	528,001
有形固定資産合計	15,698,530	18,349,763
無形固定資産	30,467	29,888
投資その他の資産		
敷金及び保証金	584,802	553,508
繰延税金資産	218,111	218,595
その他	15,791	12,553
投資その他の資産合計	818,705	784,657
固定資産合計	16,547,702	19,164,309
資産合計	22,860,676	25,290,857

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	130,000	819,000
1年内返済予定の長期借入金	1,621,626	1,718,646
リース債務	387,701	350,630
未払金	722,384	734,612
未払法人税等	770,917	753,487
契約負債	124,754	102,857
その他	299,295	122,347
流動負債合計	4,056,679	4,601,580
固定負債		
長期借入金	4,937,692	5,798,984
リース債務	2,443,305	2,502,508
退職給付引当金	3,949	4,639
役員退職慰労引当金	49,380	53,590
資産除去債務	899,102	904,106
その他	37,100	32,850
固定負債合計	8,370,529	9,296,678
負債合計	12,427,209	13,898,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	953,920	953,920
資本剰余金	1,387,438	1,387,438
利益剰余金	8,092,996	9,052,126
自己株式	△886	△886
株主資本合計	10,433,467	11,392,597
純資産合計	10,433,467	11,392,597
負債純資産合計	22,860,676	25,290,857

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,849,797	5,185,872
売上原価	2,799,183	2,925,585
売上総利益	2,050,614	2,260,287
販売費及び一般管理費		
役員報酬	39,720	42,050
給料及び賞与	55,732	68,084
支払手数料	82,564	94,316
その他	101,284	126,563
販売費及び一般管理費合計	279,300	331,015
営業利益	1,771,314	1,929,271
営業外収益		
受取手数料	12,869	12,374
雑収入	3,832	3,885
営業外収益合計	16,702	16,260
営業外費用		
支払利息	33,934	34,295
雑損失	9,710	7,452
営業外費用合計	43,644	41,748
経常利益	1,744,371	1,903,783
税引前中間純利益	1,744,371	1,903,783
法人税、住民税及び事業税	646,390	718,328
法人税等調整額	9,084	△483
法人税等合計	655,474	717,844
中間純利益	1,088,897	1,185,939

（3）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。